

神戸労災病院

外科

指導担当医（役職）

前田 裕巳（副院長）、尾崎 喜就（心臓血管外科部長）、
仲田 庄志（呼吸器外科部長）

実習概要

概要

外科・呼吸器外科・心臓血管外科の一員として4週間過ごします。オーダー（投薬）は行いませんが、それ以外はほぼ初期研修医と同様に行動します。学生1人当たり患者さんを2～3人担当し、入院から退院まで一貫して主治医団として患者さんに接します。主治医団の回診やICに参加し、検査に同行します。

医療面接

毎日2回（朝・夕）は担当患者を訪室し、医療面接と身体診察を行います。

身体診察

ガーゼ交換のある患者さんは毎朝主治医団として診察、処置を行い、経過を把握し、必要な指示を出します。担当患者さんは毎日、帰る前にも診察します。腹部緊急疾患の患者さんが入院してきたときは、なるべく身体診察できるように調整します。

カルテ記載

電子カルテに記載を行い、指導医が記載内容をチェックし指導します。

症例プレゼンテーション

毎週月曜日には、部長回診と術前カンファレンスがあり、この際担当した患者さんのプレゼンテーションを行います。

その他（特色など）

外科は主に消化器外科となりますが、希望により、呼吸器外科、心臓血管外科の実習も可能です。

学生へのメッセージ

外科医の日常生活を、実習を通じて体感してください。夜間に緊急手術を行うこともありますが、ご希望があれば参加可能です。